

平成 27 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

(平成 26 年度施策・実施事業分)

平成 28 年 1 月

宇陀市教育委員会

はじめに

宇陀市教育委員会は、教育行政の充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、平成26年度に執行した教育委員会の主な事務事業を宇陀市総合計画に基づく基本計画の項目毎に分類し、目標の達成状況及び進捗状況について宇陀市教育行政点検評価支援員の意見をふまえながら点検・評価を行い、本報告書をまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

宇陀市教育委員会

教育長	福田	裕光
委員	寺澤	亮一
委員	中尾	哲夫
委員	岡本	憲明
委員	巽	礼子

1 施策・事業点検及び評価の実施概要

宇陀市教育委員会は、「宇陀市総合計画」はもとより、年度ごとの「学校教育の指導方針」、「生涯学習の振興指針」並びに「人権教育についての基本方針」等に基づき、社会環境や財政状況に弾力的に対応した施策・事業を遂行しています。その具体的取組に関して目標達成状況を踏まえた点検・評価を行いました。

今回の点検・評価の対象は平成 26 年度に実施したうちの主な施策・事務事業です。

2 宇陀市教育行政点検評価支援員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが点検・評価をした結果について、学識経験者 2 人に点検評価支援員を委嘱して教育面での効率性・有効性の観点から改善点などについてご意見をいただきました。

施策・事業を見直す上で、点検評価支援員の市民の視点に考慮した指摘を真摯に受け止め、職員の意識改革につなげ、総合的かつ客観的に捉え、新たな進展を目指すものです。

■支援員の氏名（敬称略）

高野 精介 氏（宇陀市在住）

砂古 里美 氏（宇陀市在住）

■点検評価支援員と教育委員会事務局職員による会議開催

平成 27 年 9 月 30 日（水） 午前 9 時～午後 5 時

〔教育委員会活動・学校教育等の概略説明と質疑応答、点検評価支援員からの総括的な意見〕

3 教育委員会の主な運営・活動状況

教育委員会は、平成 26 年 4 月に学校教育の指導方針を「基礎学力を大切に『生きる力』と『夢』育む教育の実現」、人権教育の推進の基本方針、生涯学習の振興指針を「いつでも 自由に学び その学びを活かし 心豊かに生きる」とし、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第 23 条に基づき、次に掲げる教育に関する事務を管理し、執行しました。

- ・教育委員会議
- ・教育方針及び教育計画の策定
- ・教育に係る調査及び統計
- ・学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止
- ・事務局及び教育機関の職員の人事
- ・児童生徒の就学
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導
- ・教科書その他の教材の取扱い
- ・事務局及び教育機関の職員の服務及び研修
- ・学校施設及び設備の整備
- ・教職員に対する指導助言
- ・学校保健
- ・学校給食
- ・生涯学習の振興に係る施設の企画及び調整
- ・社会教育の基本計画及び総合調整
- ・社会教育に関する施設の設置及び管理
- ・社会教育団体の指導育成
- ・家庭教育、青少年教育、成人教育及び公民館事業
- ・文化及び芸能の振興
- ・スポーツ・レクリエーションの指導奨励
- ・文化財の保護、活用及び啓発
- ・文化財の指定、調査、研究、記録及び資料の作成 等

(1) 信頼される学校づくりに向けた取組

◆ 学校教育

本市の学校教育の目標は、人権を尊重する民主的な社会の形成者として、豊かな人間性と創造性をそなえた幼児・児童・生徒の育成を推進することです。

宇陀市教育委員会では、『基礎学力を大切に「生きる力」と「夢」を育む教育の実現』を進めています。

地域の実態や子どもたちの特性等を踏まえ、学校・家庭・地域が協働して地域ぐるみで子どもの教育に取り組む環境づくりを進め、教職員一人ひとりが専門性と使命感、豊かな人間性、熱い情熱をもって教育にあたり、子どもたちが将来に夢や目標を持ち、それに向かって努力し、確かな成長

を実感できる教育・保育内容の創造と学校・園づくりに努力しています。

具体的な教育実践にあたっては、確かな学力を育む教育活動の推進、豊かな心を育む教育活動の推進、健やかな心身を育む教育活動の推進、この3つを大きな指導の柱として、各校で教育目標を定め、その目標に添った教育活動を行っています。心身ともに健康な人間の育成、知徳体のバランスのとれた力を育む教育の充実が重要です。

次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」、人間性豊かな総合力を身に付ける取組を日々実践しています。

社会情勢が大きく変化する中で、「生きる力」を育むためには、学校だけでなく、家庭や地域などの結びつきが希薄にならないようにして、社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが非常に大切です。学校だけでなく、家庭や地域での交流や体験は「生きる力」を培うものです。これからも、学校・家庭・地域が連携を緊密にして、一体となり教育力の向上に努めます。

幼稚園・保育所では、発達や学びの視点から、小・中学校教育との円滑な連携を図っています。就学前教育の重要性に鑑み、教育計画・保育指針に則り、健康で明るい子ども、感性豊かな子ども、思いやりのある子どもの育成に保護者、地域のご協力をいただきながら、具体的実践を行っています。

なお、学校、園・所の関係では、例月の校長会、幼稚園長・保育所長会や教育センター事業の研修の場を通して、積極的に議論、意見交換しています。

◆ **人権教育**

教育委員会は、これまで人権が尊重される社会や地域を築く人間の育成を目指し、具体的な施策を講じてきました。「人権教育の推進についての基本方針」を定め、平成26年度においても当該基本方針のもと、様々な教育の場で、さらなる教育実践の充実に向けた事業を実施しました。

主な重点課題は次のとおりです。

- ①自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることが実感できる機会と環境づくりの推進。
- ②教育の機会均等を保障し、一人ひとりが持つ可能性を伸ばすとともに、生涯にわたって自分らしく豊かに自己実現を目指す意欲の向上。
- ③人権についての理解を深める学習を進め、お互いをかけがえのない存在として尊重していく技能や態度の育成。

- ④豊かな人権感覚を育成し、人権問題についての確かな見方や考え方を育てる指導の充実。
- ⑤出会いや相互理解を大切にし、生涯にわたる学習を通して、社会の向上のために協働できる人間づくり。
- ⑥豊かな人権文化に満ちた地域づくりを目指し、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いの連携を大切にすると仕組みの推進。

◆ **人事評価**

奈良県人事評価制度の規定による自己申告評価制度・勤務状況評価制度に則り、教職員の自己申告シートの提出を受けます。

その資料等に基づき、管理職に対して直接指導助言を行い、校長等管理職が学校職員に指導助言を行います。

教職員が学校組織の構成員であることを認識し、組織の目標を理解し、行動することの自覚を促すとともに、管理職は個々の教職員の能力や適性を客観的に把握し、教育的力量の向上や組織の活性化に向けた人材の育成を図ることを目的とします。

また、宇陀市内の各学校の円滑な経営に寄与するために、適切な人事異動を行っています。10年以上の長期勤務者の解消・若手教員の積極的採用などにより、職員構成を偏りのないようにし、お互いが刺激し合い、相互理解と協力関係を築き、学校組織を活性化し、学校全体の教育力を高めるよう努力しています。

◆ **学校評価**

学校は、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組についての適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図っています。

自己評価だけでなく保護者など学校関係者等による評価を実施するとともに、結果を学校だよりやホームページで公表しています。

また、教育委員会が学校評価の結果に応じて学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図っています。

(2) 基本的人権を尊重した生涯学習社会の構築に向けた取組

◆ **生涯学習**

変動の激しい社会情勢の中で一人ひとりが心豊かに、健康で、生きがいのある人生を過ごすことができるように、生涯にわたって、学習を継続し、その成果を適切に活かせる社会が求められています。

そのため、学校や家庭と地域が連携し、心豊かで安心できる生涯学習社会の構築を目指すことを目的に次の点を重要施策としました。

- ①生涯学習の促進
- ②生涯学習情報の充実
- ③社会教育推進体制の充実
- ④青少年教育活動の充実
- ⑤家庭教育の充実
- ⑥人権教育の推進
- ⑦男女共同参画の推進
- ⑧環境問題学習の推進
- ⑨国際交流の推進
- ⑩芸術・文化活動の促進
- ⑪文化財の保存と活用
- ⑫スポーツ・レクリエーションの充実
- ⑬学習成果と活用

以上の施策目標を達成するため、現状を踏まえながら具体的な課題を設定し、種々の施策・事業を推進してきました。具体的な施策・事業については後に示す「点検・評価シート」で取り上げています。

(3) 教育委員会会議の開催

教育委員会会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 13 条及び「宇陀市教育委員会会議規則」に基づき、平成 26 年度は定例会 12 回と臨時会を 3 回、合計 15 回の会議を開催しました。

全国的に教育行政の中核をなす教育委員会制度について議論のあるところです。政治的な中立性を確保するとともに、教育の継続性、安定性を維持することが教育委員の責務と捉え、日夜努力しています。

会議では、施策に関して真剣に議論を交わし、事務局と連携して施策を推進しています。会議は原則公開しています。平成 26 年度の傍聴者は 16 名でした。

また、会議終了後に、複雑化する多様な教育課題や、子どもを取り巻く諸問題について意見交換や、議論を交わし、理解を深めています。

◆教育委員会審議案件等の実績

教育委員会会議では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「宇陀市教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、種々の案件について十分な議論、審議をしました。

さらに各担当課から所管する事務について詳細な報告や協議を行うことで、教育委員会と事務局が同一の施策の方針のもとで、一層事業が充実、推進されたと考えています。

<平成 26 年度の審議案件>

- 4月臨時教育委員会（4月11日）
 - ・宇陀市就学指導委員会委員の委嘱について
- 4月定例教育委員会（4月22日）
 - ・宇陀市立公民館運営審議会規定の一部改正について
- 5月定例教育委員会（5月29日）
 - ・平成 26 年度宇陀市教科用図書選定委員会委員の任命並びに平成 26 年度小学校教科用図書選定に係る諮問について
 - ・平成 26 年度宇陀市教科用図書選定委員会調査研究員の任命について
- 6月定例教育委員会（6月25日）
 - ・宇陀市立学校給食センター運営協議会委員の委嘱について
- 7月定例教育委員会（7月23日）
 - 審議案件なし・協議事項・報告事項のみ
- 8月臨時教育委員会（8月25日）
 - ・平成 27 年度使用小学校教科用図書の採択について
- 8月定例教育委員会（8月25日）
 - ・宇陀市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則について
 - ・史跡宇陀松山城跡保存整備委員会の委嘱について
 - ・平成 26 年度宇陀市教育行政点検評価支援員の選任について
- 9月定例教育委員会（9月30日）
 - ・宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区計画の一部改正について
- 10月定例教育委員会（10月28日）
 - ・宇陀市立幼稚園規則の一部を改正する規則について
 - ・宇陀市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する要綱について
 - ・宇陀市立教育委員会研究校等補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

- ・宇陀市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則について
- 11月定例教育委員会（11月26日）
審議案件なし・協議事項・報告事項のみ
- 12月定例教育委員会（12月17日）
・宇陀松山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について
- 1月定例教育委員会（1月29日）
・宇陀市地域公民館活動支援補助金要綱の一部改正について
- 2月定例教育委員会（2月26日）
・宇陀市立幼稚園預かり保育実施要綱の改正について
- 3月臨時教育委員会①（3月23日）
・平成27年度奈良県教職員人事異動について
- 3月定例教育委員会（3月27日）
・宇陀市教育長の職務に専念する義務の特例に関する規則の制定について
・宇陀市教育委員会公告式規則等の一部を改正する規則について
・宇陀市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について
・宇陀市立幼稚園保育料徴収条例施行規則を廃止する規則について
・宇陀市教育委員会公印規程の一部改正について
協議事項6件、報告事項40件

◆教育委員会会議以外の活動

[学校訪問]

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条の規定に基づき、5月から6月にかけて小学校7校、中学校4校、幼稚園5園そして保育所4所を訪問しました。

学校長等から、今年度の学校経営の重点項目、教育課程の特色、今年度の創意工夫の点などについて説明を受け、その後、「学校教育法施行規則」及び「宇陀市学校管理運営規則」に基づく次に示す各種表簿を点検しました。

<各種表簿>

学校日誌・出勤簿・旅行命令簿・教育計画書（教育課程）
指導要録・健康診断に関する表簿・薬品管理簿等

学校施設・設備の視察・点検、すべての児童・生徒等の学習・授業の様子を参観しました。

その後、改善点について意見交換を行うとともに、教育の課題を探り、学校長等に対し指導・助言を行いました。

訪問の目的は、学校教育の充実に寄与することです。

また、入学式、卒業式、体育大会等学校行事への参加を通じて、児童・生徒の活動状況を参観しました。

奈良県教育委員会が定める「学校教育の指導方針」ならびに「宇陀市学校教育の指導方針」に添った教育がなされているか、教育委員、教育長、指導主事及び事務局職員、さらに県教育委員会事務局教職員課の管理主事も加わり、次に示す観点で実態を調査しました。

＜実態把握の観点＞

県及び市の学校教育に関する方針に添った重点施策

学校の経営方針・教育課程（教育方針と重点指導）

特別支援教育・道徳・人権教育・生徒指導・研究主題

職員研修・児童生徒の安全確保と危機管理・評価の実施と公開

家庭や地域との連携等

[宇陀市学校アドバイザーチーム学校訪問]

学校は、教育活動を通して児童・生徒の豊かな人間形成を図るため、質の高い教育を提供する責務があり、活力ある組織としての総合力を発揮することが求められています。そのため、学校経営、教育活動について絶えず見直し、学校改善（学校経営改善、授業改善）を図ることが重要な課題となっています。

そこで、宇陀市教育委員会として、単に学校改善を求めるだけでなく、改善の方向性や具体的方策を示すため、学校アドバイザーチームを設置し、各学校を計画的に訪問して、市内小中学校の学校改善に役立てます。

平成 26 年度は市内小学校 3 校、中学校 1 校を訪問しました。

◇宇陀市立室生西小学校 平成 26 年 10 月 21 日

◇宇陀市立菟田野中学校 平成 26 年 10 月 28 日

◇宇陀市立榛原東小学校 平成 26 年 11 月 7 日

◇宇陀市立菟田野小学校 平成 26 年 11 月 18 日

[教育委員・教育長研修等]

◇奈良県都市教育長協議会 平成 26 年 4 月 16 日（奈良市）

平成 26 年 7 月 22 日 (〃)

平成 26 年 10 月 17 日 (〃)

平成 27 年 2 月 16 日 (〃)

◇近畿都市教育長協議会定期総会 平成 26 年 4 月 24 日～25 日
(兵庫県姫路市)

〃 研究協議会 平成 26 年 10 月 23 日～24 日
(兵庫県加古川市)

◇全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
平成 26 年 5 月 21 日～23 日
(鹿児島県鹿児島市)

◇奈良県市町村教育委員会連合会会議
平成 26 年 5 月 19 日 (奈良市)

◇近畿市町村教育委員研修大会 平成 26 年 10 月 20 日
(京都府京都市)

◇奈良県市町村教育委員研修会 平成 26 年 11 月 7 日 (桜井市)

以上の研修を通じて自己研鑽に努めるとともに、教育事情調査や教育相談等の日常活動に努めています。

4 各施策・事業の取組状況と支援員の意見

各施策・事業点検評価シートは、「宇陀市総合計画に基づく基本計画」にそって、項目ごとに主な施策・事業を点検し、評価した結果です。

シート中の『達成度』『必要性』『有効性』とは、教育委員会が次の基準により判断したものです。

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| A | 高い | (概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。) |
| B | やや高い | (ほぼ目標を達成したが、改善の余地がある。) |
| C | やや低い | (目標をあまり達成できなかったため、改善を要する。) |
| D | 低い | (目標を達成できなかった。) |

また、『点検評価支援員による総合評価』『今後の方針』については、それぞれ

れの欄外に評価項目を 5 段階評価とし、※印で示しています。

施策・事業の点検・評価 一覧

宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業		自己評価			総合評価
		達成度	必要性	有効性	
◆学校教育内容の充実					
1	安全・安心メール配信システム運営事業	A	A	A	1
2	教育センター事業				
	（1）適応指導教室「はばたき」	A	A	A	1
	（2）通級指導教室「ほほえみ」	A	A	A	1
3	小中学生基礎学力向上事業	B	A	A	1
4	教育相談事業	A	A	A	1
5	外国語活動指導助手設置事業	A	A	A	1
◆学校教育環境の充実					
6	教育施設の耐震化				
	（1）教育施設の耐震化（小学校）	A	A	A	2
	（2）教育施設の耐震化（中学校）	A	A	A	2
7	ぬくもり修学奨励資金支給事業	A	A	B	1
8	学校給食賄材料購入事業	A	A	A	1
◆地域の教育力の醸成					
9	子ども活動支援事業	B	A	A	1
10	青少年育成支援事業	B	A	B	1
11	子どもフェスタ事業	A	A	A	1
◆生涯学習機会の充実					
12	市美術展事業	B	A	A	1
13	公民館管理運営事業	B	A	A	2
14	地域公民館活動支援事業	B	B	B	2
15	各種講座・教室事業	B	B	A	1
16	図書館機能充実事業	A	A	B	1
17	図書返却ポスト事業	C	A	B	1
18	寄贈資料の管理運営事業	A	A	B	1
◆生涯スポーツ活動の支援					
19	宇陀シティマラソン事業	A	A	A	1
20	大人のための運動教室事業	B	B	B	1
21	小学校水泳教室事業	B	B	B	1
22	水泳教室事業	B	B	B	1
23	宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会事業	B	A	A	1
◆スポーツ環境の充実					
24	市民スポーツ大会事業	B	A	A	1
25	体育施設長寿命化事業	B	A	A	2
26	総合体育館・総合運動場運営事業	B	B	B	2
27	室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	B	B	B	2
◆歴史・文化資源の保全と活用					
28	文化財保存修理等補助事業	A	A	A	2
30	葉の館管理運営事業	B	A	A	1
31	重要伝統的建造物群保存地区保存事業	A	A	A	1
32	埋蔵文化財発掘調査事業	A	A	A	1
33	国重要文化財・片岡家文書調査事業	A	A	A	2
34	街なみ環境整備事業	A	A	A	1
35	史跡宇陀松山城跡保存整備事業	B	A	A	1

自己評価 「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 安全・安心メール配信システム運営事業			所管課	教育総務課
事業の概要	<p>保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援センターの保護者を対象として、学校等からの様々な連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡等が行えるメール配信システム。 このシステムの特徴は、一方的に送信するだけでなく、回答機能を装備していることにより、各種アンケートや会議の出欠等、迅速かつ的確な集計等が行える。 また、気象庁と連携していることから気象警報発令時には即座に気象メールが配信され、地震等の緊急時にも安否確認が自動的に発信される。</p>				
目標・実績	<p>保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援センターの保護者及び教職員、教育委員会事務局職員が登録し、メール配信システムを構築することによって、緊急時の情報伝達が一斉にできることに加え、情報を共有することができる。それが子ども達の生活の安全安心につながる。 9割を超える登録があり、学校行事、気象警報時、感染症対策等の連絡手段として非常に効果を発揮した。</p>				
教育委員会自己評価の	成果と課題				
	幼稚園・保育所・小学校・中学校・子育て支援センター・学童保育室の職員及び児童・生徒の保護者並びに教育委員会事務局職員等の91.21%が登録済み。				
	達成度	A	必要性	A	有効性
評価理由	システムの利用性が、利用者に評価され、登録率は徐々に増加している。		必要な情報を、正確かつ迅速に登録者へ伝達することができる。		評価理由 このシステムを活用することにより、正確かつ迅速な情報伝達が行えることから、緊急時の活用も含めて有効な情報伝達手段のひとつである。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>不安定で何が起ころうとも不思議でない現代社会において、緊急時に正確な情報を素早く伝達できるこの配信システムは有効であり、必要性はかなり大きい。一方、双方向の機能であることから個人情報の保護等のセキュリティを確立し、システムの利便性をより高めるとともに、更なる登録者の増加を図っていただきたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>メール配信システムの登録者が増加し、保護者に対するサービスが浸透してきた。今後も防犯・災害に活用することに加え、学校独自の情報伝達を工夫し、より充実したサービスを目指す。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 教育センター事業(適応指導教室 はばたき)		所管課	教育総務課
事業の概要	市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。また、不登校児童生徒等に対する相談を保護者、教職員に対しても行う。			
目標・実績	適応指導教室に来室することで、心の居場所ができ、学習機会を確保することや、不登校の状態にある児童・生徒の学校への復帰を促す。また、学校と連携を深め、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲を高める。			
教育委員会自己評価の	成果と課題 平成26年度は3名の正式通室生徒がおり、週2日2名の指導員が相談・指導、学校との連携・調整を行っている。また今年度から教員資格を持った補助員を採用し学習指導を行い、2名が在籍校へ復帰した。しかし、通室しているのは不登校児童・生徒の一部であり、まだ多くの不登校の子ども達があり、その子ども達の居場所づくりが課題である。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A	評価理由	評価理由
	正式通室者が3名、うち2名が在籍校に復帰した。保護者や教職員へのこの教室の存在が浸透しつつある。	長期欠席をしている児童生徒に、学校教員だけの対応では十分とはいえない状況や、学校への拒否感のある児童生徒に対する受け入れ態勢が必要である。きっかけ作りの一歩としての窓口。	通室者を自然に受け入れ、落ち着ける場所、自分を理解してくれる場所となっている。また通室者で卒業、高校入学者、学校に復帰できた生徒もいた。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>少子化社会でありながら、不登校児童生徒が増加している現状において、自治体が開設する適応指導教室の存在は大変貴重である。はばたき教室で状況に応じた適切な指導が行われ、学校への復帰に結びついている点を大いに評価したい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>今年度、2名が在籍校へ復帰する成果を上げた。しかし、まだまだ不登校児童生徒の一部であり、家庭に閉じこもった児童生徒や別室登校生を通室させ、早期に在籍校への復帰を目指す。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 教育センター事業(通級指導教室 ほほえみ)		所管課	教育総務課
事業の概要	小学校の通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子ども達へ、担任以外の教育専門員によりそれぞれの子どもの実態に応じて通級による指導を行う。保護者、教職員、幼児に対しても相談業務を行う。			
目標・実績	言葉の発達などの問題のため、本来もっている能力を十分に発揮しきれない児童に対し、個々に応じた指導を行い、生き生きと、スムーズに学校生活や社会生活をおくれるよう支援する。通級指導児童が23名になり、定期的な指導相談ができています。教職員の相談や指導参観、教育相談も増えている。相談件数83件、のべ相談回数393回となった。			
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 幼児期の言葉や発達についての相談に対して需要が高く、相談を望む声が多く相談回数が増加している。今後も増加していく傾向にあると思われるため継続的な相談指導が必要である。また、家庭から出て、幼稚園等集団の場に入ることにより、社会性やコミュニケーションについて苦戦することがわかり、相談に来られるケースが多く、幼児期からの適切な指導により小学校への移行がうまくいっている。課題としては、通級児童が増え教材等の作成及び指導の準備に時間がかかるため、指導員の増員が必要である。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A	評価理由	職員が言葉の専門家であるので、教職員と連携し言葉の訓練を早くから行うことにより、状態が改善されることが多い。特に幼児期でのかかわりが重要であり、教職員や保護者への指導が有効。
	評価理由	通級指導が必要な子ども達が定期的に通級指導を受けることによって、コミュニケーション能力を身につけ上級学校への移行がスムーズになった。	評価理由	ことばやコミュニケーション、社会性に困難さを抱えている子ども達が増え、幼児期、学童期での早期対応、早期療育をすることが必要。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 主 な 意 見 か ら	<p>専門指導員による、児童の個々の発達特性に合わせた指導は大変有効である。本年10月より指導員が増員され、教職員や保護者への指導も充実していくものと期待する。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>通常学級に在籍する特別支援が必要な児童に応じた教育環境を確保するために必要な事業であり、継続する必要がある。対象児童が年々増加してきており、適切な支援講師の確保が必要。そのため関係者の連携を強化し、サポート体制の構築に努め、人材確保も含めて国、県など広域的な取り組みを行う。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 － 小中学生基礎学力向上事業		所管課	教育総務課			
事業の概要	小中学生の基礎学力向上を図るため、市教育委員会では、『基礎学力を大切に「生きる力」と「夢」を育む教育の実現』をスローガンとして「学びの広場UDAプラン」事業として、市の教育の諸課題に応じた学校教育及び幼児教育に係る教職員研修、調査及び研究、教育相談、適応指導教室、特別支援教育心理等専門家チームの派遣等を実施。						
目標・実績	<p>「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心身」を育て、子ども達一人ひとりが自信を持って生涯にわたって幸せに生きていくための力をつけることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル教育の推進(英語スピーチコンテスト・サイエンスラボ・夢先生授業) ・規範意識の醸成(挨拶運動、禁煙・交通安全等講演会) ・いのちの教育の推進 						
教育委員会自己評価の	成果と課題						
	ALTによる英語授業や英語スピーチコンテスト、サイエンスラボ、夢先生授業の実施により子ども達が授業に興味を持ち、意欲をもって授業に取り組めるようになってきた。今後は教師の授業力、家庭教育力を高めていくためにも「教育センター」機能の更なる充実を図り、事業の質を向上させていくことが課題である。						
	達成度	B	必要性	A	有効性	A	
評価理由	授業に対する熱意や態度についてはポイントが上がってきているが、家庭学習については全国や県平均よりポイントが低い。		評価理由	子ども達の自己肯定感を育み、一人ひとりが自信を持って生涯にわたって幸せに生きていく力をつけるために重要。		評価理由	子ども達が意欲を持って学習に取り組む基礎学力向上につなげるために有効である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>基礎学力向上には他校や他府県の指導の在り方を学び、指導方法の充実を図ることも必要だが、まず第一に目の前にいる児童生徒の意識を変えることが大切である。サイエンスラボや夢先生授業は子ども達の興味・関心を高める上で大変効果的なので今後も趣向を凝らして本事業を継続していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>昨年度から実施の「学びの広場UDAプラン」事業の実践及び英語スピーチコンテスト・サイエンスラボ・夢先生授業などのグローバル教育の推進等により、徐々に学力向上の効果は上がってきた。教職員の授業力向上のための研修会も積極的に行っており、引き続き研修の充実に努める。また、児童生徒の全体的な学力向上には、家庭・地域の継続的な取り組みが必要と考える。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 教育相談事業		所管課	教育総務課
事業の概要	臨床心理士による教育相談業務。主としては発達相談で、心理学的な見地から、保護者や教職員にアドバイスを行ったり、ニーズに応じて心理検査を行う。			
目標・実績	保護者・学校・幼稚園・保育所の担任、子どもが相談を受けることが可能で、家庭だけ、学校だけでない統一した子どもへの関わりや指導についてのアドバイスが可能であり、必要に応じて発達検査を行い、結果を保護者へ知らせ相談を行っている。また、専門の相談員によるアドバイスがあるため、利用者から評価が高く幼稚園・保育所を卒園卒業しても、継続して相談を受けるケースが多いため、今までの良い状態を低下させることなく事業を継続していかなければならない。			
教育自己評価委員会の	成果と課題			
	問題を抱えている子ども達が年々増えてきている中で、相談希望者の増加に伴い相談員にもかなりの負担を強いている部分があり、この事業を継続していく上でその点を考慮していく必要がある。			
	達成度	A	必要性	A
評価理由	相談者が抱えている不安や悩みを学校以外の場所で気軽に相談できる機関として確立できた。	評価理由 幼稚園、保育所など早い時期での対応が、その児童に添った形での就学に結びついたり、専門の相談員によるカウンセリングにより児童生徒だけでなく保護者や教諭にも必要な場所となっている。	有効性	A
評価理由	評価理由 大宇陀地域事務所という落ち着いた環境で実施することにより、利用者が人目を気にせず相談室に行く事が出来る。また、相談室と検査室が隣接していることから子どもも保護者も安心してそれぞれで相談検査を受けることが可能である。			

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>保護者と学校・園との密接な連携・実践がなくては課題の解決には結びつかない。保護者の思いと子どもの様子を十分に把握し、相談者の悩みを解消できるよう臨床心理士の位置付けと働きに期待したい。事業の更なる充実・継続をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>児童生徒の抱える様々な問題への対応に教育相談は不可欠である。特別支援が必要な幼児が年々増加し、多様化していく中、補助員等の増員によりその充実に努めてきた。今後も教育相談事業の充実への取り組みを進めたい。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 外国語活動指導助手設置事業			所管課	教育総務課
事業の概要	ALT(外国語指導助手)を配置し、市内7小学校の外国語活動授業で、クラス担任と連携し、Hi, friends!(副読本)を活用したティームティーチングを行う。小学5, 6年生のクラスに対し、各校年間30回を実施。(外国語活動及び国際理解に関する教育の補助・外国語教材作成の補助) また、幼稚園、保育所、子育て支援センターに対し、年間各6回訪問し、英語指導を行う。				
目標・実績	外国語活動において、音声を中心に外国語に慣れ親しむ活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標としている。 幼児期からネイティブな英語に慣れ親しむことにより、英語に対する関心や興味が高まり英語力の向上につながっている。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	子ども達はネイティブな英語に触れることができる授業を体験している。また、ALTの国の生活や行事などを聞くことができ、日本との違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くことができる。今後もALTのティームティーチングの仕方を工夫し、より効果的な外国語活動の指導につなげていきたい。				
	達成度	A	必要性	A	有効性
評価理由	評価理由		評価理由		評価理由
	幼児期からネイティブな英語に慣れ親しむことにより、児童の英語に対する関心・興味が高まった。		子ども達の国際的な視野を広げる上でも、外国語指導の充実が重要となっている。		英語に対する関心を深め、国際感覚を磨くことにつながり、地域の国際化が期待される。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見 から	<p>幼児期よりネイティブな英語に慣れ親しむことは、外国語への抵抗をなくす上で重要である。中学校でのALTの授業で生き生きと活動する生徒を見ていると、まさしく小学校からの積み重ねと言える。2020年には5・6年で英語が正式な教科になることを踏まえ、消化不良で英語嫌いにならないよう、英語への関心をさらに高め、より充実した事業になることを期待するとともに日本語も大切にしていってほしい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
----------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>国際社会において活躍できる人材育成には、外国語教育を一層推進していく必要がある。そのためには環境整備が極めて重要である。外国語指導助手を継続して配置し、英語や異文化への興味・関心が高まるような事業を積極的に企画していく。さらに、コミュニケーション力、英語力育成への環境を整えるため、外国語指導助手の増員に向けて体制を整えていく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校の教育環境の充実 — 教育施設の耐震化(中学校)			所管課	教育総務課	
事業の概要	榛原中学校校舎耐震化等工事(設計) 室生中学校体育館耐震化等工事					
目標・実績	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。					
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 平成24年度に作成した宇陀市学校施設等耐震化計画に基づき、国が示す平成27年度の耐震化に向け計画的に耐震化を進める。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	計画通り事業が完了		評価理由	学校施設は児童が一日の大半を過ごす施設であり、また、地域の避難所としての機能を有しているため、耐震基準を満たし経年による施設の機能復旧は必要。	
	学校施設の改修により教育環境を改善でき、また避難所として安全な施設にすることで安全・安心な街づくりの一端となる。					

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 主 な 意 見 か ら	<p>耐震化は命に係わることから期限期間を設定し、計画的に危機意識をもって事業が執行されていることを評価したい。環境は人を作るとも言われる。環境整備の充実は教育の充実につながる。子ども達が安全安心清潔な環境のもと教育を受けられることをうれしく思う。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】 総合評価は1期工事について</p>
--	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>平成27年度予算をもって完了予定。今後は学校施設のみならず地域の防災拠点として有効活用を検討していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
---------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育環境の充実 — ぬくもり修学奨励資金支給事業		所管課	教育総務課
事業の概要	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。			
目標・実績	市の将来のまちづくり活動に取り組み意欲をもってもらい、市の活性化を図る。 ・平成26年度 10人に支給			
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 入学支度金として現状の金額が妥当なのか検討の余地がある。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	B	評価理由	
	評価理由	修学困難な生徒の入学支度金として修学奨励資金を支給することで、進学しやすい環境をつくることのできた。	評価理由	宇陀市内に在住する高等学校・大学等の入学支度金として、修学困難な生徒に対し修学奨励資金を支給し、市の教育環境づくりを図ることを目的とする。
	評価理由		評価理由	入学支度金として修学奨励資金を支給することは、就学率の増加につながるので「人を育て文化が薫るまちづくり」の一環として有効性が高いと思われる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>日本の子どもの6人に1人が貧困と言われ、親の経済格差が子どもの教育環境や学力の差に跳ね返っていると指摘されている。こうした現状を踏まえ、未来への選択肢が狭められている生徒に進学を支援するために、自治体から修学奨励資金を支給することは、意義深く価値のある施策である。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---------------------------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>修学奨励資金を支給することで就学率が増え、教育を受ける権利を保障するためにも有効な手段であり、今後とも計画通りに進める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育環境の充実 — 学校給食賄材料購入事業		所管課	学校給食センター
事業の概要	子ども達に「おいしく、安全・安心な給食」を提供するため、国産物資、国内加工、無添加食材を基本購入とする。 購入においては、特に地場産を中心とした旬の食材を積極的に活用する。また、県給食会との連携を深め、情報収集を積極的に行いながら、食材の安全確認を行う。			
目標・実績	市内・県内の地場産物の積極的な利用を行うとともに、使用食材の安全衛生管理を徹底する。 その管理方法として、①産地偽装防止のため、産地表示の義務化②放射能で出荷制限のある食材は、放射能物質検査を実施する③食品偽装防止のため加工食品は、原材料とその産地を確認する④学校給食衛生管理基準に基づく食品検査を複数回実施の4つを行っている また、食材のアレルゲンについては、学校と連携を図りながら、アレルギー除去対象の保護者に情報を提供する。 学校給食食材購入費:118,354,744円			
教育自己評価委員会の	成果と課題 市内、県内の地場産物を取り入れた献立の工夫をおこないながら、「おいしく、安全・安心な給食」を提供するため、保護者から直接の声を聞く機会として、保護者への給食試食会を5校3園で実施し、295名の参加があった。 また、子ども達にも、給食及び食材への関心や理解を深めてもらうため、食育授業として、9校で延べ28回の授業と、2校1園の学校給食センターの施設見学をおこなう。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A	達成理由	評価理由
	「おいしく、安全・安心な給食」を年間を通して提供できたとともに、保護者への情報提供や、子ども達への食育授業・施設見学も行った。	産地・食品偽装の防止、衛生管理を徹底するため、食品検査や食材の産地証明等の提出を求めることにより、使用食材の安全性を確認する。	献立の工夫や調理方法について、試食会等で評価を得るとともに、食材の検査結果で、アレルゲンの情報が必要な食材については、学校・保護者へ情報の提供を行った。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>食材の産地確認、放射能検査等、安全衛生管理の徹底は大変有意義なことであり、加えて多様な献立を工夫するなど食育に関する大役を果たされている。保護者の試食会をさらに多くの学校・園で実施し、給食の現状を知ってもらうことも大切。また食育授業や給食センターの見学は、子ども達の食への関心を深める点で重要な取り組みである。本年度3回実施を計画しているマイ弁当の日も続けてもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価【 1 】</p>
--------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 給食食材の安全性の確保を図り、施設等の衛生管理に努め、「おいしく、安全、安心な給食」を提供する取り組みを継続する。また、学校での試食会・講演等、保護者との交流を通じて、学校給食への関心を高めるとともに、子どもたちに「食」への関心を深めてもらうため、食育授業や給食センターの見学等を積極的に推進していく。 新鮮で美味しい給食を提供するため、市内・県内地場産物の、積極的な利用促進・拡充に努める。 食べ物を大切にしたり、自分で栄養を考えて食べ物を作ったり、食べられることに感謝したり、といった「食」に対する教育の一環として実施している、「マイ弁当の日」の定着を目指し継続していく。 事業の総合評価【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 地域の教育力の醸成 — 子ども活動支援事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	地域教育力再生の契機として、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援する。子ども達の学習補助や環境の整備、登下校の見守りなどを行い、子ども達が安全で安心な学校生活を送れる環境を整える。			
目標・実績	地域ぐるみで子育てをする体制を構築し、教育活動の充実や教員が子どもと向き合う時間を拡張することにより、将来宇陀市を担う健全な青少年の育成を図る。			
教育自己 委員会 評価 の	成果と課題			
	市内全小・中学校において事業を実施し、それぞれの学校の取り組みにおいて、地域の方々との協働を実施した。スクールバスの運行時刻が決まっているため、放課後に行う事業への取り組みに時間の制限がある。			
	達成度	B	必要性	A
評価理由	評価理由		有効性	
市内全小中学校が事業を実施したが、ボランティアの登録数が増加しない。	地域に開かれた学校づくりを目指し、地域の教育力を高めるため、必要な取り組みである。		地域の人々が学校運営に参画することができる有効な事業である。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 の 主 な 意 見 か ら	<p>「地域の教育力」を活性化するには、自治体が中核となり学校や地域全体が一体となって子育て支援の体制を推進することが将来に向けて重要となる。各学校や市民に対し、有償ボランティアをより一層周知するなどし、実情にあわせながら支援を強化していただくことを望む。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>地域に開かれた学校づくりを目指し、子ども・地域・学校が相互に学び合いながら地域の教育力が醸成されるよう、今後も事業を実施する。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 地域の教育力の醸成 — 青少年育成支援事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	青少年の規範意識や社会性の低下が社会現象となり、その要因として、親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等があり、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的に広報、啓発活動・有害環境浄化活動を実施した。			
目標・実績	未来を担う子ども達を健やかに育むために、地域全体で教育に取り組む体制をつくり、地域全体の教育力の向上を目指す。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題			
	街頭啓発活動として、市内中高生から募集した青少年健全育成に係る標語を印刷したポケットティッシュを配布し、青少年の健全育成に努める。			
	達成度	B	必要性	A
評価理由	評価理由		評価理由	
街頭啓発活動や、有害図書の販売時の指導を実施したが、より多くの活動を実施する必要がある。	様々な活動を継続して実施し、各方面と連携しながら青少年健全育成を図る。		街頭啓発活動や、有害図書の販売時の指導を実施するなど、有効性は高い。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>地域と子どもとのかかわりを深め、連帯感をつくることは地域の発展に寄与することになる。市内中高生の標語印刷ポケットティッシュの配布は事業への興味、関心を高める点で効果的である。このような工夫を凝らした活動を継続し、さらなる発展深化を期待する。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
-----------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>青少年健全育成活動は、地域の教育力向上の基礎となる活動の一つである。今後も、子ども達が健やかに成長できるよう堅実な活動を継続する。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 地域の教育力の醸成 － 子どもフェスタ事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子ども達の健全育成を図る。			
目標・実績	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子ども達の健全育成を図る。事業実施にあつては、実行委員会を組織して企画立案から実施までを行う。 実施内容は、紙飛行機大会、クラフト、軽スポーツ体験、紙芝居など様々なコーナーで、楽しみながら体験をしていただいた。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 市内の子ども達が集まり、遊びを通じて交流することができた。また、ペットボトルキャップを約45,000個集めることができ、ポリオワクチン52人分と交換することができた。 参加者 約1600人 新しい遊び体験や、軽スポーツを取り入れていく必要がある。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A	評価理由	評価理由
	評価理由	実行委員会の企画立案から運営まで、市民の主導による事業実施ができた。	評価理由	市内の子ども達が一堂に会する機会を設け交流する、他に類のない事業である。
			評価理由	体験を通じた仲間づくりや、様々な人との交流が図れ、豊かな心・健全な心の醸成の一助となっている。また、榛生昇陽高校のボランティアの参加もいただけた。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 意 見 か ら	<p>年々趣向を変えながら継続されており、市外からの参加もある盛大な事業である。子ども達がスポーツやレクリエーションに親しみ、体験・経験することができ、また、高校生ボランティアにおいてもアイデア発表の場となっていることは大変評価できる。更なる発展を望む。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>年々少しずつ実施内容を変化させたり、新しい実行委員が加わるなど、事業の深化が見られる。子どもと大人が、遊びを通して様々なことを学べる機会である子どもフェスタを工夫を重ねながら継続していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 市美術展事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	平成26年11月1日～4日迄、市役所4階、5階において、絵画・書芸・写真・彫塑工芸部門を設け、展覧会を実施した。			
目標・実績	絵画39・書芸42・写真16・彫塑工芸21作品が出展され、延べ1,035人の来場者があった。今後は、参与作家による作品の展示など、より格調高い市美術展覧会を開催していく。そのことにより、創作意欲の向上を促し、美術文化の向上を図る。			
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 出展数、来場者数ともに前年度より延びたが、展示スペースに限界が来ている。今後は、参与作家の出展により、さらなる来場者の増加を図る。			
	達成度	B	必要性	A
	有効性	A	評価理由	文化芸術活動を行うことで、創造力や表現力を高め、豊かな心を持った社会を形成して行くに資する事業である。
評価理由	幼児の作品展を同時開催し、来場者数が増加したが、依然として来場者数がやや少ない。		評価理由	文化芸術作品を創造し、鑑賞することで、心豊かな社会形成・魅力あるまちづくりを推進する。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	5歳児作品展を同時に開催することは来場者数の増加を見込める点で有効であり、また、市民の作品だけでなく参与の作品を展示することも評価できる。制作意欲の向上とますますの文化向上をめざし、深化、発展していただきたい。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 参与作品の展示など、より格調のある美術展を目指し、そのことが宇陀市の文化芸術を高めることになろう、一層の努力を重ねながら、引き続き市美術展を開催していく。
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 公民館管理運営事業		所管課	中央公民館
事業の概要	宇陀市民一人ひとりが、心豊かに健康で生きがいのある人生を過ごすために、生涯にわたって主体的に学習を継続することが求められていることを踏まえ、生きる喜びを分かち合える生涯学習社会の構築を目指して、地域課題や市民の学習ニーズに即した学習機会の提供を図るとともに、地域に根ざした公民館活動を推進する。			
目標・実績	身近な学習や文化活動が、誰でも気楽に活動できるような環境整備に努め、文化的活動の機会や地域住民と公民館活動をつなぐ情報提供に努めるとともに、各種団体と協力連携し地域の教育・文化の振興を図る拠点となる。また、自主グループの育成を推進し、各分館の施設利用率の増加を図る。 ・H25年度使用料(4分館) 3,084,235円 ・H26年度使用料(4分館) 3,052,740円:			
教育自己委員会 の 評価	成果と課題 公民館の施設利用の殆どは自主グループ及び定期利用団体であり、利用率は概ね順調である。更なる利用率を高めるため自主グループの育成に努める。 ・H25年度自主グループ登録数 42団体 ・H26年度自主グループ登録数 39団体			
	達成度	B	必要性	A
	評価理由	概ね適切な施設維持管理及び運営ができたと考える。	評価理由 市民が「集い・学び・繋がる」機会と場の提供のため、公民館の必要性は高く、更なる施設の環境整備に努める。	有効性
			評価理由 実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与できたと考える。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>身近な学習や文化活動のためには、地域公民館は欠かせないものであり、また、世代間の交流や地域の人々を結びつける働きを持つ地域の拠点である。更なる施設環境の整備と公民館の活性化をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---------------------------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>身近な学習や文化活動を、誰でも気軽に楽しめるように努め、地域に根ざした公民館活動を推進するための拠点として、環境整備に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 地域公民館活動支援事業		所管課	中央公民館
事業の概要	「宇陀市地域公民館活動支援補助金交付要綱」に基づき、対象となる公民館活動を行った自治会等に対して補助金を交付する。			
目標・実績	地域ぐるみで活発な生涯学習活動を目的とした地域公民館事業を支援することにより、より一層の充実と活性化を図る。 ・平成25年度補助金交付額実績:2,215千円 ・平成26年度補助金交付額実績:2,290千円			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 地域づくりと連帯意識の醸成を図るための事業を推進するため、活動を支える助成措置は、有効に活用されてきたと考える。ただ、地域による支援補助金の平等化の方向性と、市が推進している「まちづくり協議会」の趣旨により、地域での公民館活動事業もまちづくりの一環として大きくとらえて、支援補助金の見直しが必要と考える。			
	達成度	B	必要性	B
	有効性	B	評価理由	B
	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由
	榛原地域50館及び室生地域8館に対し、補助金を交付し、地域にあった公民館事業を展開した。	地域の活性や問題解決のため、市は「まちづくり協議会」の設立を推進しており、まちづくり協議会補助金への移行は望ましいと考える。	公民館事業もまちづくりの一環として大きくとらえ、地域の公民館事業への分配を受け事業展開は図れるものとする。平成29年度を持って本補助金の廃止を進めている。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>地域公民館は地域住民を結びつける重要な施設であり、その活動が果たす役割は極めて大きい。平成29年度をもって事業が終了し、以後、まちづくり協議会活動となるが、協議会との連携が今後の事業推進の課題となってくる。いずれにせよ、各地域での活動が活性化するよう尽力してほしい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
-----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>教育委員会は今後とも、中央公民館・各分館の活動を推進し、地域公民館活動団体との連携を図り、宇陀市並びに地域の生涯学習の振興を進めるため多方面から支援していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 － 各種講座・教室事業		所管課	中央公民館		
事業の概要	市民のニーズに合った講座の充実を図り、自主グループ・リーダーの養成とまちづくり・まちおこしなど地域社会参加の促進を図る。「定期講座」は各分館にて開催し、1年を通じて初歩から応用までを学習する。「ウェルネスシティ講座」、「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」については、各分館を会場とし各テーマを設けて、知識の向上、趣味の輪を広げ、健康の保持や生きがいづくりを目指した講座を開設。					
目標・実績	社会教育法に基づき、市民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養向上、健康の増進を図り生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。また、本年度は各地域(4分館)で出前講座[テーマ:身近な消費者問題について]を開催した。 参加者のべ人数 2, 151名					
教育自己 委員評価 会の	成果と課題 各講座・教室では、応募者が定員以上になり抽選を行うものもあるが、応募率が半分のものもある。また、定期講座によっては年7回から8回開催するが、回をおって受講率低下が顕著に表れる。市民ニーズに合った講座を開設するためアンケートによる調査等を実施し市民が求める講座を把握している。また、周知についても広報紙や宇陀チャンネル以外にも「公民館だより」を発行し、より多くの参加者を得よう努めている。今後、更に幅広い年代の受講生を対象とするため、時代に合った講座や開催時間の検討も必要と考える。					
	達成度	B	必要性	B	有効性	A
	評価理由	幅広い年代層に興味を持っていただく講座内容、開催日時を検討が必要。また、参加者が少ない講座については様々な周知方法を行い、随時募集を行うことも検討する。	評価理由	社会教育法に基づく公民館活動を達成するため必要と考えるが、適切な講座数、募集人数並びに開催回数の見直しも必要と考える。	評価理由	講座及び学級等を開催することにより、市民の教養向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉等の促進を図る

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 意見 から	<p>本年度の専門家による出前講座は好評だったと聞く。わかりやすく見やすい受講生募集案内パンフレットや公民館だよりにより、事業内容や活動を知ることができ有効である。今後も、参加者の今日的なニーズを探り、多種多様に内容を工夫し、事業活動の充実を図りたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>受講生へのアンケート等により、多種多様化する市民の学習ニーズを把握し、幅広い年代の方が多く参加できるよう、開催場所・開催曜日・開催時間などの環境整備に努める。引き続き、本年度も市民生活に密着したテーマで各分館で「出前講座」を開催する。また、公民館だよりなどの機関紙やSNSを活用して、事業内容や活動を発信していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 図書館機能充実事業	所管課	中央図書館				
事業の概要	図書館システムを活用したウェブサービスの促進を目指し、図書館資料の活用を促す。また、平成26年度末に宇陀市子ども読書活動推進計画が策定され、宇陀市の現状と課題を保育現場や学校現場の先生方と共有し、今後に生かすことで、より読書活動を活性化する。						
目標・実績	市民の皆さんに“いつでも、どこでも、誰でも”読書を楽しむことができる生涯学習環境を作ることを目指す。そのためにアクセスポイントでの本の貸出・返却やインターネット予約などの図書館システムの利用を促進させて、利用率の向上を図る。またHPやツイッターなどで情報提供を定期的に行い、図書館運営への参加を促す。また子ども読書活動推進計画の策定を受けて、今後5年間を目処に宇陀市の子ども達の読書力向上を目指す。 平成26年度実績 ・蔵書冊数 135,521冊 利用人数41,361人 貸出冊数137,779冊 ・子ども読書活動推進計画の策定に伴い、畿央大学の八木義仁先生による読書活動に関する講演会開催 ・平成26年度ブックリスト『この本読んで』…作成・配布						
教育委員会 自己評価 の	貸出冊数の増加は見られなかったが、利用人数は増加しており、図書館の利用自体は増えているものと思われる。また、子どもの読書活動推進計画の策定による、今後の活動の指針となるべき道筋を作ることができた。 市民が参加できる図書館をコンセプトに『プチ自慢』のコーナーを作り、利用者が図書館の資料を活用した作品の展示コーナーを設け好評を得た。						
	達成度	A	必要性	A	有効性	B	
	評価理由	評価理由		評価理由			
まだまだできる工夫はあるものの、新規の『プチ自慢』などのイベントも好評であり、関連本の貸し出しも増加している。	宇陀市子ども読書活動推進計画は、将来的な学力向上の面からみても基礎学力の基本となりうるものであり、その必要性は大きい。		中央図書館・大宇陀図書館の施設環境は必ずしも良いとは言えず、蔵書冊数も多いとは言えないため、利用者のニーズに十分に応えることができない。				
※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い							
点検の 評価 員 から	人が生涯学び続ける力を養うために、図書館の働きや機能に寄せる期待が益々大きくなっている。広報で紹介されている読書活動に関する講演会やおはなし会の開催、すくすく広場等の催し物は読者層を広げる上で有意義であり、図書館の利用率向上に欠かすことのできないものである。中学生の利用が少ないようであるが、小学生の間に十分な量の読書を積んでおくことは将来につながるもので今後期待したい。			点検評価支援員による総合評価 【 1 】			
※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結							
今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉			生涯学習の観点からも、乳幼児期から生涯にわたる継続的な読書支援のための方策を企画推進する。また、小中学校への団体貸出やインターネット予約の利用拡大を図る。			事業の総合評価 【 1 】
※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結							

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 図書返却ポスト事業			所管課	中央図書館	
事業の概要	インターネット(携帯電話)予約を受け、それぞれの受取場所への配送サービス及び、各地域に設置した返却ポストや大宇陀図書館からの返却本の回送を行う。					
目標・実績	返却ポストの周知はかなり普及しているが、貸出ポイントの利用の増加はまだまだ少ないので、更なる利用者の増加を目指す。 平成26年度返却ポスト利用状況 返却冊数 39,053 冊 貸出冊数(公民館) 90 冊					
教育委員会 自己評価	まだまだ利用者の増加を目指して考えられる手立てはあると思うので、27年度に向けて対応を検討し、実施していく。					
	達成度	C	必要性	A	有効性	B
	評価理由	返却ポストの利用は増加傾向ではあるが、貸出場所の周知と利用が伸び悩んでいる。	評価理由 中央図書館・大宇陀図書館から離れた場所でも公平にサービスを受けることができるのは市民として当然のことであり、そのために、返却ポストや貸出場所の設置は必要である。	評価理由 本を手にとって選べるのが理想ではあるが、インターネットや新聞・雑誌などで内容を調べ、インターネット予約し、地元受取することも有効な手段である。		
点検評価員の 主な意見	読書活動の深化を図るためにも利便性のある返却ポスト事業は大変ありがたいものである。しかしながら、その情報の周知がまだまだ徹底されていない部分があるので今後も継続が必要。				点検評価支援員による総合評価 【 2 】	
今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 返却ポストの周知徹底を図り、利用者の増加を目指す。				事業の総合評価 【 1 】	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 寄贈資料の管理運営事業			所管課	中央図書館	
事業の概要	宇陀市に寄贈された約1万冊の貴重資料を宇陀市立図書館の蔵書として登録し、管内閲覧のみの貴重資料ではあるが、インターネット検索により市立図書館の資料として広く周知する。					
目標・実績	寄贈資料約1万冊を登録し、データとして入力する。また寄贈資料には中央図書館所蔵のバーコードを張り、市立図書館の蔵書であることを表示する。この作業により、利用者への貴重本の展示閲覧が可能になる。 ・寄贈資料 10,989 冊					
教育委員会 自己評価 の	寄贈資料約1万冊を登録し、データとして入力することができた当初の目標は達成しているが、今後この貴重な資料を、うまく運用していけるように検討していく必要がある。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	B
	評価理由	計画通りに登録をすべて完了した。	評価理由	寄贈された物件は適切に管理運用しなければならない。	評価理由	登録された資料が最も有効に活用できる方策を考える必要がある。
点検評価 の 主な 意見 から	貴重な蔵書や資料を寄贈いただいた方に感謝するとともに、この貴重な資料が多くの人目に触れられるよう大切に保管し、周知・活用方法をよく検討していただきたい。				点検評価支援員による総合評価 【 2 】	
今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 寄贈資料の活用については、菟田野ひららにおいて、独自の特集などを企画し、利用者への周知・活用を目指す。				事業の総合評価 【 1 】	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 — 宇陀シティマラソン事業		所管課	生涯学習課	
事業の概要	走ろう宇陀！ふれあう心をスローガンにファミリーの部から10kmの部まで市役所周辺を会場にマラソン大会を実施。 また、温泉手湯や食推元気汁のふるまい、宇陀市のPRなどを行い、宇陀市を県内外に発信していく。				
目標・実績	宇陀の豊かな自然の中で、市民をはじめ参加する方々の健康の維持増進、健幸都市ウェルネスシティ宇陀市を目指し、お互いの交流と親睦を図るとともに、青少年の健全な育成を目指す。 平成26年度は1,700名を超える申し込みをいただくとともに、約400名のボランティアスタッフの協力により、大会を成功させることができた。				
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題				
	ハーフマラソンの実施の要望が多くあるが、クリアしなければならない課題が多く非常に困難である。 本マラソン大会参加者へのおもてなしについて、企画していく必要がある。				
	達成度	A	必要性	A	
	評価理由		評価理由	有効性	A
	定員を超える参加者申し込みをいただくとともに、約400名のボランティアスタッフの協力による市民協働のマラソン大会となっている。	宇陀市開催のスポーツイベントとしては最大規模であるとともに、健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想の一翼を担っている。	誰もが参加しやすい距離設定で健康保持増進が図れ、市外からの参加も多く、宇陀市のPRにつながっている。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>平成19年の第1回大会から数多くのボランティアの協力を得て、継続・深化できている点が評価できる。宇陀市をPRするには欠かせないこの盛大な事業を、今後も更に魅力ある充実したものにしていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---------------------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>毎年、多くのボランティアスタッフに支えられながらの開催で、全国からマラソンランナーを迎え、宇陀の自然を満喫していただけるマラソン大会として参加者からも好評を得ている。今後も魅力あふれる大会を継続して実施していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 － 大人のための運動教室事業			所管課	総合体育館										
事業の概要	室内温水プール内の施設を利用した継続型の運動教室の開催。 ・基本コース ・エアロビクス ・ピラティス														
目標・実績	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>基本コース</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>エアロビクス</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>ピラティス</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>391人</td> </tr> </table>						26年度	基本コース	157人	エアロビクス	96人	ピラティス	138人	合計	391人
	26年度														
基本コース	157人														
エアロビクス	96人														
ピラティス	138人														
合計	391人														
教育自己 委員会 の評価	成果と課題														
	運動を始めたいと思っている人や、運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に行うことで運動の習慣化につなげていける。														
	達成度	B	必要性	B	有効性	B									
	評価理由		評価理由		評価理由										
	健康のため何らかの運動をした と思っている人にそういう場を提 供できた。		「ウェルネスシティ宇陀市」を掲 げ、市民の健康づくりを推進して いく上でも、継続型の運動教室は 必要である。		健康増進、体力維持、疾病予防 だけでなく、人とのコミュニケー ションを深めながら、心身の健康 づくりに寄与できる。										

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>年齢を問わず興味のある種目を選択し、運動教室に参加することは健康・体力面に良いだけでなく、人とのコミュニケーションを深め、日々の生活の充実につながることも運動の習慣化も期待できる。「健康なまちづくりプロジェクト」として、本事業の更なる充実を期待する。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---------------------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>心身の健康づくりに寄与できる継続型の運動教室として今後も事業を推進し、参加者の増加に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 — 小学校水泳教室事業		所管課	総合体育館
事業の概要	市内の小学校2、3年生を対象に、水泳教室を通してスポーツの楽しさを知り、生涯にわたりスポーツに親しんでもらうことを目的として、夏休み2日間にわたり水泳専門講師よって授業を行う。			
目標・実績	水泳技能を学び、水泳の楽しさや基礎体力や健康づくりの推進を図る。			
		25年度	26年度	生徒数増減率
	水泳教室生徒数	168人	161人	95.8%
教育委員会自己評価の	成果と課題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活で低学年に、水泳等のスポーツに親むことなどで多くの経験を積むことが、その後の学校生活を豊かにする。 ・全学校の参加者を班編成して振り分けることで、受講時間が少なくなる。 ・スクールバス搬送に移動時間が多くかかる所がある。 			
	達成度	B	必要性	B
	評価理由		評価理由	評価理由
	対象生徒の約4割の子ども達が参加している。		夏休みの時期を利用して専門講師に学べる。	水に慣れることや水泳技能、基礎体力等が身につく。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>水泳教室は児童の夏の思い出づくりに大きな意義と成果を果たしており、また、専門講師によるこの授業により、市のスイミングスクールに通級する人もあるとのこと。水泳への興味を増し、子ども達の体力づくりにも寄与しているこの教室を高く評価する。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>子ども達の水泳技能や基礎体力向上のために今後も事業を推進し、参加者の増加に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 － 水泳教室事業			所管課	総合体育館																		
事業の概要	水泳教室を専門業者に業務委託し、一年を通して専門講師から能力に合わせた技能を習得する。 ①水泳教室(幼児コース、児童・生徒コース、成人コース) ②水中ウォーキング ③水中エアロビクス																						
目標・実績	ジュニアにおいては水泳の基礎技能を学びスポーツの基礎体力をつける。また、成人は水に親しみながら水泳の楽しさや健康増進を図る。																						
		25年度	26年度	生徒数増減率	26年度収入																		
	水泳教室生徒数	442 人	395 人	89.4%	17,351,940 円																		
	ウォーキング生徒数	14 人	18 人	128.6%	754,675 円																		
	水中エアロビクス生徒数	12 人	12 人	100.0%	676,620 円																		
	合計	468 人	425 人	90.8%	18,783,235 円																		
教育自己評価委員会の	<p>成果と課題</p> <p>ジュニアオリンピック出場者や全国高校記録保持者を輩出し、水泳選手を育てる役割を果たしている。また成人にとっては、水に親しみながら水泳の楽しさや健康づくりをすることに貢献した。</p> <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td>B</td> <td>必要性</td> <td>B</td> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>評価理由</td> <td colspan="2">評価理由</td> <td colspan="3">評価理由</td> </tr> <tr> <td>前年度に比べ水泳教室の生徒数が若干減少した。</td> <td colspan="2">市内で一年を通して気軽に子ども達等が水泳を学べる唯一の施設として受講生が多い。</td> <td colspan="3">技能に合わせてクラス選択でき、上級から選手コースまで気軽に学べ上達できる。</td> </tr> </table>					達成度	B	必要性	B	有効性	B	評価理由	評価理由		評価理由			前年度に比べ水泳教室の生徒数が若干減少した。	市内で一年を通して気軽に子ども達等が水泳を学べる唯一の施設として受講生が多い。		技能に合わせてクラス選択でき、上級から選手コースまで気軽に学べ上達できる。		
達成度	B	必要性	B	有効性	B																		
評価理由	評価理由		評価理由																				
前年度に比べ水泳教室の生徒数が若干減少した。	市内で一年を通して気軽に子ども達等が水泳を学べる唯一の施設として受講生が多い。		技能に合わせてクラス選択でき、上級から選手コースまで気軽に学べ上達できる。																				

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>専門講師から能力に合わせた指導を受けられることは、たいへん意義のあることである。また、一年を通して水泳が学べることも体力作り、健康維持に有効なことである。機会があればオリンピックを経験された方を招聘し、夢を持つことの大切さや素晴らしさについて話を聞きくなど交流する場を設けることにより、事業が一層活性化され、また、各人の励みにもなると思う。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>子ども達の体力向上や選手育成、成人の健康づくりのために事業を推進し、より参加しやすい環境の整備や広報活動も併せて進める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 — 宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会事業			所管課	総合体育館	
事業の概要	長距離走を通して子どもたちの体力向上と健全育成を図ると共に、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、豊かな人間性をつくる。 ・「宇陀市駅伝チャレンジ大会」において、小学校5、6年生の8名1チームとして市内各小学校より集まりタイムを競う。 ・各小学校5・6年生に希望者を募り、駅伝練習を3ヵ月間行った後、「奈良県市町村駅伝対抗子ども駅伝大会」に参加する。					
目標・実績	駅伝の楽しさを知り、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識や人を思いやる心を育てる。 ・宇陀市駅伝チャレンジ大会 参加:10チーム(81人) ・奈良県市町村駅伝対校子ども大会 練習参加:27人 大会成績:11位(38チーム)					
教育自己 委員会の 評価	成果と課題 駅伝の楽しさを知り、基礎体力を高め、仲間の団結を生み、将来にわたるスポーツ振興を図った。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	評価理由		評価理由		
	チャレンジ大会においては、参加チームが増えた。また市町村対抗においては、参加児童が練習会に熱心に参加し、体力の向上につながった。		学校間を超えた仲間作りができること。		駅伝の楽しさを知り、仲間との連携を学ぶことが将来にわたるスポーツ振興と豊かな人間性を育むことにつながる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 見 か ら	<p>駅伝大会は宇陀チャンネルや広報うだで紹介され、力走する児童の活躍ぶりには目をみはるものがあり、いつも感動をさせられている。学校の枠を超えた中でタスキをつないでいくことは連帯感を養い、豊かな心を育てることに大いに寄与するものである。本事業の更なる充実をお願いする。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>駅伝という競技を通じて子ども達の基礎体力の向上や仲間との連帯感を養い、子ども達の健全育成の一環となるように事業の拡大に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ環境の充実 — 市民スポーツ大会事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心の健康、体力の増進と競技力の向上を目指すもので、20種の競技を実施した。			
目標・実績	広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心身の健康、体力の増強と競技力の向上を目指し、生涯を通じたスポーツ活動の振興を図る。			
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題			
	1, 399人の参加が得られ、生涯スポーツの振興を図ることができた。			
	達成度	B	必要性	A
	評価理由		評価理由	有効性
	平成25年度に対して、参加者は微増しているが、より多くの市民が参加できるものにならなければならない。		参加者は約20種類の競技から自分に合った競技種目を選択し、1,300人を超える市民に参加していただいている。健康増進にたいへん効果的である。	A
				健康の保持増進、体力の向上、余暇の充実といった精神面の健康増進、集団で参加する場合の社会性の育成も図ることができる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 から の 主 な 意 見	<p>20種類もの多くの競技からそれぞれ自分に合った種目を選択し、自由参加できることは、健康・体力面にもたいへん効果的であり、かつ、参加することによりコミュニケーションの場も広がっていくものと思われる。スポーツなどに勤しみ健康を保持・増進していくことは高齢化社会の大きな課題である。今後も多様な工夫や支援をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
--	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>生涯スポーツの実践の場として市体育協会と連携し、より多くの参加が得られるよう努め、今後も大会を開催していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ環境の充実 — 総合体育館・総合運動場運営事業			所管課	総合体育館
事業の概要	市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、体育館・運動場の効率的な管理運営を行い、安全で快適な管理を図る。				
目標・実績	体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めるとともに、利用促進を進める。				
		25年度	26年度	増減率	
	体育館利用者数	53,458 人	42,070 人	78.7%	
	グラウンド利用者数	6,858 人	9,147 人	133.4%	
	合計	60,316 人	51,217 人	84.9%	
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めた。 ・施設の大規模改修を行った。(内壁塗装、空調設備、照明LED化、アリーナ床面改修等) 				
	達成度	B	必要性	B	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	改修により施設の長寿命化が図れ、今後も利用者の増加が見込まれる。	大きな大会や集会を行う施設として利用度が高い。		スポーツ振興と体力づくりの施設として、また、イベントや集会等の多目的利用として市民より評価が高い。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 評価 員 の 意見	<p>体育施設の改修によりスポーツ環境が充実し、清潔感あふれる明るい施設となり、気持ちよく伸び伸びと利用できるようになった。このことにより益々利用者の増加が期待できるので、今後も適切な管理運営をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
---------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>利用者が、今後も更に快適で安全に利用できるように努めていく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ環境の充実 － 室内温水プール及びテニスコート管理運営事業			所管課	総合体育館
事業の概要	市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、室内温水プール及びテニスコートの効率的な管理運営を行い、安全で快適な管理を図る。				
目標・実績	水泳やテニスを通してスポーツ振興と健康の増進を図り、効率的な管理運営と利用者の増加を進める。				
		25年度	26年度	増減率	
	プール利用者数	37,003 人	38,915 人	105.2%	
	テニス利用者数	6,831 人	5,689 人	83.3%	
	合計	43,834 人	44,604 人	101.8%	
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した機械設備の一部(ヒートポンプチラー3台交換)を改修した。 ・施設の長寿命化のためにも今後も年次的な改修が必要である。 ・小中学校の水泳授業としても使用している。 				
	達成度	B	必要性	B	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	設備の一部を改修したことにより、ランニングコストの軽減が期待できる。プールの利用者が増加した。	水泳を通して健康や体力づくりをしようと考えている方の利用度が高い。 小中学校の体育の水泳授業に使用している。		幼児・小学校等の水泳技能向上や市民の健康と体力づくりに貢献している。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 から の 主 な 意 見	<p>安全対策、機械設備の点検が十分になされた中での施設利用は学校側にとっても安心して授業を行えるところである。今後も利用者が安心して使えるよう年次的な設備の改修をお願いしたい。とりわけ水泳教室が安全に行われるよう配慮をお願いする。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
--	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>今後も利用者が快適で安全に利用できるよう年次的、計画的な改修を行い、より快適な利用環境の提供に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
---------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 文化財保存修理等補助事業		所管課	文化財課
事業の概要	国・県・市指定文化財(以下、「指定文化財」という。)の所有者(個人・宗教法人)が行う防災設備点検等経費の負担軽減、所有者が行う建造物等の保存修理工事経費の負担軽減、所有者が行う環境整備(草刈、庭木の剪定)経費の負担軽減、また市指定民俗文化財を維持伝承していくため、後継者を育成していくための経費等の負担軽減を図るため、これらに関して補助金を交付する。			
目標・実績	指定文化財の保存修理、防災設備点検等、環境整備、民俗文化財伝承の実施に対して補助金の交付を行う。 (平成26年度 保存修理 1件・防災設備点検等 10件・環境整備 1件・民俗文化財伝承事業 4件)			
教育委員会 自己評価	成果と課題 指定文化財の保護・管理等の諸事業の実施により、適切な状態が保たれている。点検等により不具合が発見されれば修理を行い、毎年の防災設備の点検等は消防法の規定に基づき実施され、機器等は良好に作動している。今後も、指定文化財の適切な保護・管理を行っていくため、国、県、所有者と連携しながら継続していく。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A		
	評価理由 所有者とともに指定文化財の適切な保護・管理等ができた。	評価理由 指定文化財は、その重要性に鑑み、適切な管理を行うために様々な法的規制があり、指定文化財の保護・管理を適正かつ円滑に実施するには、特別な経費を要する。事業実施にあたり、所有者の負担軽減を図ることは、文化財の保護に貢献する。	評価理由 指定文化財の適切な保護・管理が実施でき、貴重な文化財を後世に伝えていくことができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	限られた範囲での補助事業ではあるが、文化財の保存や維持管理等に助成金を有効に活用し、貴重な文化財の後世への伝承をお願いしたい。 <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
--------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 文化財の保護・管理の適切な実施、防災設備の設置、点検等についても所有者に助言を行い、文化財の保護に努め後世への伝承に努める。 <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 薬の館管理運営事業		所管課	文化財課		
事業の概要	市民の歴史・文化意識の向上を図るとともに、伝統的建造物に対する理解を深めることを目的とし、内部公開を兼ねた展示施設「宇陀市歴史文化館「薬の館」(宇陀市指定文化財)」の管理・運営を行っている。 建物の公開・管理・運営等が主な業務で、シルバー人材センターに管理委託している。建物の修理等は文化財課が実施している。					
目標・実績	松山地区の代表的な商屋町家であり、薬関係の展示施設となっており来館者が多く訪れる。社会学習の教材として小学校等の授業にも活用されている。宇陀松山の歴史を学ぶ施設、伝統的な空間を体感できる施設として、より一層、展示内容の充実と来館者数の増加に努めていく。 薬の館(旧細川家住宅)は、江戸時代末期の建築と推定される。細川家は薬問屋であり、その後、薬商として「人参五臓園」「天寿丸」という腹薬を販売。館内には、薬関係の資料を中心に展示し、有料で公開(入館料大人300円小人150円(団体 大人200円小人100円)。平成26年度の入館者数は、2,390人。					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 月・火の休館日においても、視察団体等の予約が入れば特別開館し、来館者数の確保に取り組んでいる。 平成26年度の入館者は、平成25年度とほぼ同数であった。 今後は、入館者数を増やす為のイベント等が必要であると感じている。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	評価理由 当施設は、重要伝統的建造物群保存地区内にある伝統的建造物でもある。歴史を学ぶ施設、伝統的な空間を体感できる施設は少なく、公開する必要がある。		評価理由 多くの方々が来館し、当館の歴史を学んだ。必要に応じて、館内の案内・説明を行い、理解を深めてもらっている。また他市町村等からの視察や市行事での施設見学会も行っている。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>歴史文化館「薬の館」は、松山地区の町家の様子や歴史を学べ、薬関係の資料等を展示している貴重な文化財である。入館者が微減してきているとのことなので、入館者数を増加させるようなイベントやPRを考えていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>近隣に森野旧薬園もあることから、薬草を題材にした企画展開催に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 重要伝統的建造物群保存地区保存事業		所管課	文化財課		
事業の概要	周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を「伝統的建造物群保存地区」、国は特にその価値が高いとして宇陀松山地区を奈良県で2番目の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定した。・国選定は平成18年7月5日 ・指定面積17ha ・保存事業期間 平成18年度～ 歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・それ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行い、防災施設等の整備も行う事業である。					
目標・実績	歴史的風致を構成する要素である伝統的建造物の中でも「特定物件(所有者から保存同意を得た伝統的建造物)」を増やすことが必要不可欠であり、また、伝統的建造物以外の建物の修景も景観の保全には必要である。 これらの修理・修景補助の件数を増やし、歴史的な街並みを保全する。また、伝建地区の安心・安全を図る防災計画の策定や景観を守るための建築基準法の緩和措置条例の制定を行う。 平成26年度の実績は特定物件の修理 8件。					
教育自己 委員会 評価 の 価値	成果と課題					
	特定物件は所有者の同意が必要であることから、町家の修理事業と同時に特定物件指定を受ける所有者が増えている。修理事業の相談時に所有者へ特定物件指定を働きかけることにより事業推進が図れた。今後も所有者等へ、事業内容・補助金内容を啓発する必要がある。 今後、防災計画の策定、緩和措置条例の制定に向け取り組む。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由		評価理由		評価理由	
	町家の修理・修景事業は予定通り完了できたが、後年度実施の相談物件が減少している。		修理・修景が必要な物件の数は多く歴史的景観の保全には町家の回復は必要不可欠である。老朽化した町家は、修理により安全・安心な住居となり、生活環境の向上が図れている。		街並みの景観がよいと来訪者にも好評で、メディアの取材や行政視察も相次ぎ、今後の集客にも期待ができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員の 主な 意見 から	<p>伝統的建造物群に関わる商家町家の修理や保存事業により宇陀松山夢街道(街なみライトアップやほんのり行燈)や華小路も鮮やかさが一段と増し、保存地区の景観がアピールできていることを高く評価したい。今夏に松山地区をロケしたテレビドラマが放映されたが、許される限りこのようなロケ地推薦があっても良いのではないかと。来訪者が増えるきっかけになると思う。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
----------------------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>町家の修理修景を積極的に啓発し、事業の進捗率の向上を図り、メディア等からの取材や写真撮影許可については積極的に行っていく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 埋蔵文化財発掘調査事業		所管課	文化財課
事業の概要	市内遺跡の発掘調査、個人の開発行為に先立つ事前の発掘調査、遺跡保存を目的とした範囲確認調査、過年度に実施した発掘調査の調査成果整理、市内遺跡の分布調査、出土遺物保存処理等を実施し、埋蔵文化財の保護対策を講じる。			
目標・実績	遺跡の発掘調査を行い、保護対策を講じるとともに記録を行い、後世に郷土の歴史を伝える。 下城・馬場遺跡では個人の開発行為に先立つ発掘調査と保存のための発掘調査を行い、遺物整理作業(整理箱10箱)を実施、また、8次調査の調査成果整理、出土遺物の金属製品の保存処理(20点)を行った。市内の大型古墳である不動塚古墳の分布調査も実施した。			
教育自己評価委員会の	成果と課題			
	発掘調査により貴重な埋蔵文化財(遺跡)の保護対策(遺跡の記録・遺物整理等)を講じることができた。 市内には、未調査の埋蔵文化財が多数あり、今後も計画的な発掘調査が必要である。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A	評価理由	
	評価理由	評価理由		評価理由
	下城・馬場遺跡から多くの遺物が出土し、出土遺物の整理作業等を行い記録を残すことができた。	発掘調査により、郷土の歴史や生活環境を知る上で重要な史料となる。		埋蔵文化財(遺跡)の保存・整理は、郷土の歴史を後世に伝える重要な業務である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>遺跡の発掘や保存、出土品の収集・整理を的確に行い市内の文化財を後世に残すことは、今を生きる者の使命。時間を要し、緻密な作業となると思うが継続して調査を進めてほしい。また作業内容等を広報誌に掲載し、より多くの方に知っていただけるようになればと思う。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>市内には未発掘調査の遺跡が多数あるので、今後も発掘調査を進め、発掘調査状況を広報等で市民に周知する。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 国重要文化財・片岡家文書調査事業		所管課	文化財課	
事業の概要	国指定重要文化財の片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、「大宇陀町史」編纂時にその一部が調査され、室町時代・江戸時代以降の当該地域の歴史を考える上において重要な史料であることが判明した。片岡家に所蔵されている文書は約1万点を数え、これら文書の詳細な調査を行い、整理した上で次代へ引き継げるようにする。				
目標・実績	片岡家に伝わる約1万点の文書(史料)を詳細調査し、全ての文書を写真撮影するなどの記録・整理を継続して行う。調査結果は、「片岡家文書調査報告書」として取りまとめ、宇陀市の1級資料とし定期的に一般公開を行い、宇陀市の活性化に資する事を目的とする。 当該文書調査の詳細調査については、文化庁、奈良県教育委員会、片岡家文書調査指導委員会の指導を得て実施し、調査の中間報告として宇陀市文化会館にて講義と文書展示を実施した。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	片岡家に伝わる文書は1万点に及び中世から近世における宇陀地域の支配者の支配状況等の確認が可能となった。平成26年度は約3千点の調査・整理ができた。				
	達成度	A	必要性	A	
評価理由	評価理由		評価理由		
調査の整理・記録作業が順調に進み、平成26年度末に市民に向けた中間報告となる、講座と展示を行った。		片岡家は、中世・室町時代から連続と続く旧家であり、受け継がれてきた各種文書の調査により、宇陀地域の詳細な歴史を確認することができる。		文書により近世における地方自治の状況も明らかになってきた。また、国または県指定文化財の指定を受けることが可能である。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価 員の 主な 意見 から	随時、広報でその事業内容を周知しており、市民の関心も深まっていることと思われる。調査・整理事業の継続を可能な限りお願いする。			
点検評価支援員による総合評価 【 2 】				

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 平成27年度にて調査が完了する予定であり、市民に向け最終の調査報告の展示や講演会を実施し、片岡家文書が貴重な史料であることの啓発を行う。			
事業の総合評価 【 2 】				

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 街なみ環境整備事業				所管課	文化財課
事業の概要	松山地区の「松山らしさ」の再確認と新たな展開に向けて、「伝統的な街なみ」や「伝統的な暮らし」に着目するまちづくりを進め、総合的なまち活力の再生を図る。 平成13年度より32年度までの20年間で、歴史的な街なみの骨格となる道路を中心に、地区内(約35ha)の生活環境施設、公園、防災施設、修景補助等の事業により、歴史的、生活的、自然的な環境を生かし、住民の発意と創意に基づく街なみの形成を目的とする。					
目標・実績	松山地区の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりとするため、道路と電柱の美装・街路灯整備・公園整備・生活環境施設整備・防火施設整備等の住環境の整備改善を行う。 (宇陀市大宇陀松山地区 整備区域面積 35ha) 平成26年度は松山通り道路美装化工事 工事延長L=280m を実施。					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題					
	街なみ環境整備事業により、横断電線類の地中化、道路の美装化工事により、質の高い古い街並みを形成することができてきた。 松山地区の主要道路である松山通り道路美装化工事により、街並み景観の改善ができたが、工事施工中の来訪者の観光に配慮した方策も考慮しながら進めなければならない。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由		評価理由		評価理由	
	松山通りは狭隘な主要道路であるが、地元住民の協力により事業実施することができた。		電線の地中化と道路の美装工事による、松山地区の個性的で質の高い街づくりには必要である。		道路を中心に、地区内の環境整備が進み、歴史的な街並み環境を生かし、住民の発意と創意に基づく街なみを形成することができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員からの	<p>の主な意見</p> <p>年次の道路や側溝、電柱、街路灯等の整備事業により、松山通りの景観が更に良くなり、来訪者にとっても大変満足できるものとなっている。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>整備事業の中心となる道路美装化工事を推進し、重伝建事業の町家修理事業とともに、来訪者の満足度を高められるよう整備する。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 史跡宇陀松山城跡保存整備事業		所管課	文化財課		
事業の概要	<p>宇陀松山城は、豊臣政権のもとで、大和郡山城・高取城と並ぶ大和支配の拠点として誕生した。残念ながら城は、30年という短い期間でその役割を終えた。宇陀松山城跡の特徴として、城郭全域にわたって城割(しろわり)を受けていることがあげられる。現在、地表観察等で確認できる城跡の状況は、城割後の姿であり城郭構造を詳細には反映していない。</p> <p>宇陀松山城跡の史跡指定地は67,667㎡であり、そのうち総石垣づくりの中心郭部分22,450㎡の公有地化を実施している。整備範囲は公有地化を行った範囲を中心に城跡への登城道部分を対象とする。</p>					
目標・実績	<p>宇陀松山城跡の特徴として城割を受けていることが挙げられ、遺構内容・城割の状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めている。</p> <p>平成26年度は、工事用資材搬入路(登城道)予定地の発掘調査、本丸・南西虎口部・南東虎口部で実施した発掘調査(1次・2次・4次・5次調査)の資料整理、遺物整理を行った。</p> <p>今後も不安定部分の保護・保全の方法、石垣の露出方法を十分検討し、天守周辺部と本丸跡の整備を行う計画である。</p>					
教育委員会 自己評価 の 評価理由	成果と課題					
	<p>宇陀松山城跡を宇陀市のシンボルとして位置づけ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された松山地区である城下町と宇陀松山城跡を一体的に整備し、歴史資源として観光施策との連携を図り、集客交流施策に積極的に取り組んでいる。</p> <p>整備途上であるため、来訪者に不便をかけているが、年次的に整備に取り組んでいるところである。</p>					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由		評価理由		評価理由	
	文化庁・奈良県教育委員会・専門家などからの意見をもとに整備計画を策定し、年次的に整備に取り組んでいる。		宇陀松山城跡は、宇陀市のシンボルとして位置づけられており、重要伝統的建造物群保存地区に選定された松山地区の城下町と一体的に整備する。		松山重要伝統的建造物群保存地区と一体的に整備し、歴史資源として観光施策との連携を行い、より多くの集客を図っていくことができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>中世の山城から近世の城郭を知る上で、城跡の整備は欠かせない事業である。今後も段階的に整備事業を行い、この歴史資産を活用し、市の観光振興の中核に位置付けてほしい。また、この事業を通して、子ども達の「古いものを大事にする心」を育てることにつながればと思う。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>城跡の整備は年次的な計画に基づき整備を行うとともに、登城路整備事業も早期の完了を目指し、来訪者が訪れやすい観光資源としての活用を図る。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

5 まとめ（今後の課題と方向性）

宇陀市教育委員会では、平成27年4月より新教育委員会制度を実施するにともない、教育基本法を精神を体し関係諸法規に基づき、「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家および社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」に努めています。さらに総合教育会議を開催し、教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を図りつつ教育行政に取り組んでいるところです。

国においては、平成25年6月に第2教育振興基本計画が閣議決定され、少子化・高齢化、グローバル化、地域社会・家族の変容、などの状況を踏まえ、成熟社会に適合し知識を基盤とした「自立」「協働」「創造」モデルとしての生涯学習社会の実現を目指し、「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の養成」「学びのセーフティネットの構築」「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」という4つの方向性が示されております。

宇陀市においても、国の状況をふまえ教育こそが人々の多様な個性・能力を开花させ人生を豊かにするとともに社会発展の基盤であると強く意識し、一人一人の個性を生かした教育を目指し、「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心身」「他者の尊厳の尊重」のバランスのとれた人間育成のために、創意工夫をこらし、主体的かつ積極的に施策の充実に取り組むものです。

ここに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書」（平成26年度施策・実施事業分）において、教育行政の充実に図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、平成26年度に執行した教育委員会の主な事務事業を宇陀市総合計画に基づく基本計画の項目ごとに分類し、目標の達成状況・進捗状況について宇陀市教育行政支援員の意見をふまえながら点検・評価を行い、本報告書をまとめ、これを議会に提出するとともに公表するものです。

教育基本法に謳われている「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができその成果を適切に生かすことのできる社会の実現」を目指し、具体的な教育実践を推進してまいりますとともに、「いじめ」や「不登校」などの児童生徒の問題行動への対応や、規範意識の醸成、安心安全な学校づくりなどの様々な課題に主体的かつ積極的に取り組み、今後も、この事務点検および評価の上に点検評価支援員のご意見を尊重するとともに教育委員会の責務を一層自覚し、教育の機会均等と教育水準の向上を図るため、教育に関する施策等を総合的に推進していく所存でございます。